

知って備える 防災メモ

第84回



確かな情報で災害に備える

大きな被害をもたらす災害も種類によつては、事前の準備で被害を抑えることが可能です。そのためには、日頃から気象情報などを確認し、予想される災害に備えることが大切です。

また、災害時には誤った情報が広まることが多くあります。情報源が分からないものに惑わされず、屋外スピーカーや登別市防災メールなど、市が発信する情報に加え、確かな情報をいち早く入手することが、家族の命を守ることにもつながります。

さまざまな情報収集手段

テレビで地上デジタル放送を視聴している際に、リモコンのdボタンを押すと、日頃から気象情報などを確認することができ、地震や津波などが発生した場合に、震度や波の高さ、警報など、最新の情報を確認できます。

ラジオは持ち歩くことができ、災害時において、有効な情報収集手段となります。放送局の周波数や電波の拾いやすい場所などを確認しておきましょう。なお、コミュニティFM『FMびゅ〜』では、災害発生時に市の防災情

報が割り込みで放送されますので、ぜひ、ご活用ください。

インターネットでは、最新の情報を容易に検索することができます。気象庁など、情報が確かなウェブサイトを日頃から確認し、必要な情報がどこに掲載されているかを見てください。

家族のルールづくり

災害が発生したときに、家族全員が一緒にいるとは限りません。

携帯電話などが使用できず、連絡をとることができない可能性もあります。あらかじめ、自宅や職場、学校など、家族それぞれが多くの時間を過ごす場所が災害が発生した場合の避難場所を決めたり、通信会社が提供する災害用伝言板の利用方法を確認したりしておくことで、もし災害発生時に離ればなれになってしまったとしても、皆さんの焦る気持ちを抑え、適切な行動につながります。

▼問い合わせ

総務グループ (☎01130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

書道サークル

『書道サークル』は、他のサークルを通じて知り合った、字を書くことが好きな友人たちが、集まり、平成20年ごろに結成されたサークルです。

現在のメンバーは、70代の女性5人。毎月第2・4木曜日の10時から12時まで、婦人センターで筆を走らせています。

「楷書や行書、かな文字など、会員ごとにさまざまな課題に取り組んでいます。一文字ごとの出来はもちろん、全体的なバランスをとることも難しく日々挑戦です」と教えてくれたのは代表の渡辺さん。

結成当時のメンバーである渡辺さんは「会員それぞれが自分でテーマを決めて、創作活動に



▲手本を見ながら課題に取り組むメンバーたち

心静かに書と向き合う

平成22年ごろに入会した嶋田さんは「書道は子どものころに習っていただけでしたが、練習を重ねることで上達を実感でき、サークル活動の日を毎回楽しみにしています。書道は奥が深く、何年経けても楽しさは変わらないです」と活動を振り返ります。メンバー同士で助け合い、楽しみながら上達を目指す同サークル。体験や見学を希望する方は渡辺さん (☎02328) まで。